

日 時 平成26年8月25日(月) 午前10時 開 会

出席議員 (16人)

1番 村上啓二	2番 工藤和行
3番 黒石ナナ子	4番 今井敬
5番 工藤禎子	6番 佐々木隆
7番 後藤秀憲	8番 大久保朝泰
9番 大溝雅昭	10番 工藤俊広
11番 工藤和子	12番 山田鋏一
13番 福士幸雄	14番 北山一衛
15番 中田博文	16番 村上隆昭

欠席議員 (なし)

出席要求による出席者職氏名

市 長 高 樋 憲	副 市 長 玉 田 芙佐男
総 務 部 長 成 田 耕 作	企画財政部長 後 藤 善 弘
健康福祉部長兼 福祉事務所長 村 元 英 美	農林商工部長兼 バイオ技術センター所長 永 田 幸 男
建 設 部 長 工 藤 伸太郎	総 務 課 長 阿 保 正 一
人 事 課 長 沖 野 恵美子	財 政 課 長 鈴 木 正 人
税 務 課 長 佐 藤 寿	福祉総務課長 鎌 田 幸 男
土 木 課 長 鳴 海 真 一	都市建築課長 真 土 亨
上下水道課長 今 優	農業委員会会長 佐 山 秀 夫
選挙管理委員会 委員長 乘 田 兼 雄	監 査 委 員 廣 瀬 左喜男
教 育 委 員 会 委員長 村 上 良 子	教 育 長 阿 保 淳 士
教育部長兼 市民文化会館長 奈良岡 和 保	学校教育課長 山 谷 博 文
黒石病院 事業管理者 柿 崎 武 光	黒石病院 事務局長 沖 野 俊 一
黒石病院 事務局次長 小 林 清一郎	

会議に付した事件の題目及び議事日程

平成26年第2回黒石市議会定例会議事日程 第4号

平成26年8月25日(月) 午前10時 開議

- 第1 会議録署名議員の指名
- 第2 報告第23号 平成26年度黒石市一般会計補正予算(第4号)について
- 第3 報告第24号 平成25年度黒石市一般会計繰越明許費繰越計算書について
- 第4 報告第25号 平成25年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計継続費精算報告について
- 第5 議案第87号 平成25年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計決算認定について
- 第6 議案第88号 平成25年度黒石市水道事業会計決算認定について
- 第7 議案第89号 平成25年度黒石市下水道事業会計決算認定について
- 第8 議案第91号 黒石市防災会議条例の一部を改正する条例制定について
- 第9 議案第92号 黒石市税条例の一部を改正する条例制定について
- 第10 議案第93号 黒石市手数料条例の一部を改正する条例制定について
- 第11 議案第94号 黒石市福祉事務所設置条例の一部を改正する条例制定について
- 第12 議案第95号 黒石市乳幼児医療費給付条例の一部を改正する条例制定について
- 第13 議案第96号 黒石市ひとり親家庭等医療費給付条例の一部を改正する条例制定について
- 第14 議案第97号 財産の取得について
- 第15 議案第98号 固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 第16 議案第99号 平成26年度黒石市一般会計補正予算(第5号)

出席した事務局職員職氏名

事務局 長	長谷川 直 伸
次 長	三 上 亮 介
次長補佐兼議事係長	佐々木 聖 人
主 事	櫛 引 亮 兵

会議の顛末

午前10時02分 開議

◎議長(村上啓二) ただいまから、本日の会議を開きます。

本日の議事は、議事日程第4号をもって進めます。

◎議長（村上啓二） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

8番大久保朝泰議員、13番福士幸雄議員を指名いたします。

◎議長（村上啓二） 日程第2 報告第23号 処分第17号 平成26年度黒石市一般会計補正予算（第4号）についてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

（「省略」と呼ぶ者あり）

◎議長（村上啓二） 省略の声がありますので、省略いたします。

お諮りいたします。

本件については委員会の付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（村上啓二） 御異議なしと認め、委員会の付託を省略し、直ちに審議いたします。

質疑に入ります。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（村上啓二） 質疑を終わります。

討論に入ります。

（「討論なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（村上啓二） 討論を終わります。

お諮りいたします。

本件は承認することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（村上啓二） 御異議なしと認めます。

よって、報告第23号 専決処分につき承認を求めるの件は承認することに決しました。

◎議長（村上啓二） 日程第3 報告第24号 平成25年度黒石市一般会計繰越明許費繰越計算書についてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

（「省略」と呼ぶ者あり）

◎議長（村上啓二） 省略の声がありますので、省略いたします。

本件については議事事項ではありませんが、この際質疑を許します。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（村上啓二） 質疑を終わります。

以上で、報告第24号 平成25年度黒石市一般会計繰越明許費繰越計算書についてを終わります。

◎議長（村上啓二） 日程第4 報告第25号 平成25年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計継続費精算報告についてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

（「省略」と呼ぶ者あり）

◎議長（村上啓二） 省略の声がありますので、省略いたします。

本件については議決事項ではありませんが、この際質疑を許します。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（村上啓二） 質疑を終わります。

以上で、報告第25号 平成25年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計継続費精算報告についてを終わります。

◎議長（村上啓二） 日程第5 議案第87号 平成25年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計決算認定についてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

（「省略」と呼ぶ者あり）

◎議長（村上啓二） 省略の声がありますので、省略いたします。

お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思いますが御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（村上啓二） 御異議なしと認め委員会の付託を省略し、直ちに審議いたします。

質疑に入ります。5番。

◎5番（工藤禎子） 当年度から電子カルテを導入したわけなんですけれども、確かに情報も的確ですし、事務的なですね効率化もあるということはわかるんですけれども、なにせ医師がパソコンばかりに向かって患者に、データ見ながらですから、しゃべらざるもんで、やっぱり患者と向き合ってきたと言葉がけをするというようなこととか、電子カルテに伴なって医療チームで気をつけていることと言いますか、そういうことがあるかどうかお知らせ願いたいと思います。

それから、津軽地域の医療圏の問題なんですけれども、弘前の市立病院を中核病院として近隣の自治体病院がそれぞれ役割を分担して果たしていくということなんですけれども、1つは今年度中に計画をまとめるというふうにも聞いていますので、中核病院、要するに弘前の市立病院を建てるというふうにも聞いているので、その辺のタイムスケジュールをおわかりでしたらお知らせ願いたいと思います。

それから黒石病院は脳外科を特化するというのは前々から聞いているんですけれども、今ある科がどうしても減る部分も出てくると思うんですけれども、黒石病院に残る科はですね、どういうふうなものになるのかお知らせ願いたいと思います。

◎議長（村上啓二） 病院事務局長。

◎病院事務局長（沖野俊一） まず電子カルテの件です。確かに、今までの紙カルテと違いました、医師がどうしてもパソコンの画面を見る機会が多いというのは、それは事実であり、また、いたしかたないことだとは思いますが。ただ、医師のほうでもですね、ただ画面ばかりを見ていくわけではなく、常に患者との目を見ながらの診療というのにも心がけてはおります。

それから、電子カルテ導入にともないまして何か気をつけていることがあるのかということですが、やはり電子カルテを始めたときは、非常に医師もなかなか不慣れだということもありまして、なかなか診療時間が長くなってスムーズに進みませんでした。そのため、各医師にですね、医師のかわりに診療情報を打ち込む医療クランクというのを配置いたしまして、医師の負担軽減、それとスムーズな診療に努めてまいりました。

それから、黒石病院脳外科ありますけども、再編によって減るかとかあるのかということですが、現在考えておるのは、幾ら再編になっても黒石病院の今現在行っている診療科については確保したいということで話し合いは進めております。以上であります。

◎議長（村上啓二） 健康福祉部長。

◎健康福祉部長兼福祉事務所長（村元英美） 私のほうからは、今、中核病院の話が出たので、それについて御答弁いたします。

まず、認識を持っていただきたいのは、弘前の市立病院を中核病院にするというわけではございません。弘前市に中核病院をつくるということですので、そこは誤解のないようお願いしたいと思います。本年度中に計画を作成するというので、その中核病院の協議会、3月に立ち上げたわけなんですけれども、その下に部会を2つつくっております。総務部会というのと医療機能部会というのを2つ設置しております。総務部会のほうで建設場所、建設費の負担割合、運営費の割合、運営主体等を話し合うと。それから医療機能部会のほうではそれぞれの病院、例えば今のところ弘前市立病院、黒石病院、板柳中央病院、それから大鰐病院があります。ほかに、平川の診療所、それから藤崎の診療所等ありますので、それらをどういうふうにしてう

まくかみ合わせていくかという話し合いを医療機能部会ですることとなっております。もうそれぞれ2回ほど会合を開いておりますけれども、鋭意来年の3月までその中身を詰めてできるだけ協議を進めていきたいというふうな考えでございます。

それから、先ほど病院の事務局長のほうから黒石病院の診療科どうなるのかというお話で、基本的には現在開設している診療科については、黒石市としては全部残していただきたいというふうに要望は出しております。それぞれ要望出てますけども、医療機能部会という形で専門の、大体弘前の医師会、それから大きな病院の院長、今の圏域の4つの病院の院長、大学の教授等が入って話し合いをしております。実際に大学等の配置できるような形で話は進んでいくと思いますので、希望どおりいくかどうかまだわかりませんが、黒石市ではできるだけ黒石の希望どおりやりたいというふうにお願いしていきたいと思っております。以上でございます。

◎議長（村上啓二） 5番。

◎5番（工藤禎子） 24年度に比べて25年度は、外来・入院とも人数が患者延べ人数も減っているわけです。それから出る患者1人当たりの材料費は頑張っって前年度よりも高いんですけども、全体として医師がちょっと減ったということもあって、売り上げとしてはちょっと減っている。患者も若干減っているということなんですけれども、これから医師の確保というのの展望なんですけれども、どのようになっているのかお聞きしたいと思います。

それから、基本全ての科を残したいというふうに要望するというふうなことなんですけれども、気になるのは、とりわけ産科の医師というのとか、あと眼科のところとかですね、そういうところがもしかしたら弘前まで行かなければというふうになるのかなというような、いろんな医師不足、体制不足もありますよね。産婦人科がなくなっている病院もありますし、市立病院も現に、産科でしたか。何かなくしたんでないかな、今一旦。そういう流れもあるので、もしその辺の状況と言いますか、今から厳しいかもしれないとかっていう発言はできないかもしれないけれども、ちょっとやっぱり危惧する部分もあるので、その辺ちょっとお知らせ願いたいと思います。

◎議長（村上啓二） 病院事務局長。

◎病院事務局長（沖野俊一） まず、医師確保についてでありますけども、確かに地域医療の充実、それと病院の経営健全化につきましては、医師の増員というのは欠かせないと考えております。そのため、今までも市長初め病院の事業管理者、あと院長がですね、あらゆる機会を通じまして弘前大学の医学部に常勤医師の派遣をお願いしてきたところでもあります。しかしながら、弘前大学医学部自体も医師不足という状態ですので、なかなか増員にいたってはおりませんが、25年の10月から外科の医師が1人増員となりましたので、その意味では今までの成

果があったものと考えております。医師確保体制につきましては、これからも弘前大学医学部と良好な関係を保ちつつ、引き続き常勤医の増員について根強く要望していきたいと考えております。

それから、再編によって医師不足によって医師の少ない産科・眼科というのがどうなるかということでもありますけども、あくまでも今現在は今の診療科が引き続き診療できる体制というのを大学のほうには要望してまいりたいと考えております。以上です。

◎議長（村上啓二） 質疑を終わります。

討論に入ります。

（「討論なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（村上啓二） 討論を終わります。

本案を採決いたします。

本案は原案のとおり認定するに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（村上啓二） 御異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり認定することに決しました。

◎議長（村上啓二） 日程第6 議案第88号 平成25年度黒石市水道事業会計決算認定についてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

（「省略」と呼ぶ者あり）

◎議長（村上啓二） 省略の声がありますので、省略いたします。

お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思いますが御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（村上啓二） 御異議なしと認め委員会の付託を省略し、直ちに審議いたします。

質疑に入ります。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（村上啓二） 質疑を終わります。

討論に入ります。

（「討論なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（村上啓二） 討論を終わります。

本案を採決いたします。

本案は原案のとおり認定するに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(村上啓二) 御異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり認定することに決しました。

◎議長(村上啓二) 日程第7 議案第89号 平成25年度黒石市下水道事業会計決算認定についてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

(「省略」と呼ぶ者あり)

◎議長(村上啓二) 省略の声がありますので、省略いたします。

お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思いますが御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(村上啓二) 御異議なしと認め委員会の付託を省略し、直ちに審議いたします。

質疑に入ります。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(村上啓二) 質疑を終わります。

討論に入ります。

(「討論なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(村上啓二) 討論を終わります。

本案を採決いたします。

本案は原案のとおり認定するに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(村上啓二) 御異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり認定することに決しました。

◎議長(村上啓二) 日程第8 議案第91号 黒石市防災会議条例の一部を改正する条例制定についてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

(「省略」と呼ぶ者あり)

◎議長（村上啓二） 省略の声がありますので、省略いたします。

お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思いますが御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（村上啓二） 御異議なしと認め委員会の付託を省略し、直ちに審議いたします。

質疑に入ります。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（村上啓二） 質疑を終わります。

討論に入ります。

（「討論なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（村上啓二） 討論を終わります。

本案を採決いたします。

本案は原案のとおり決するに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（村上啓二） 御異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

◎議長（村上啓二） 日程第9 議案第92号 黒石市税条例の一部を改正する条例制定についてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

（「省略」と呼ぶ者あり）

◎議長（村上啓二） 省略の声がありますので、省略いたします。

お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思いますが御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（村上啓二） 御異議なしと認め委員会の付託を省略し、直ちに審議いたします。

質疑に入ります。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（村上啓二） 質疑を終わります。

討論に入ります。

(「討論なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(村上啓二) 討論を終わります。

本案を採決いたします。

本案は原案のとおり決するに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(村上啓二) 御異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

◎議長(村上啓二) 日程第10 議案第93号 黒石市手数料条例の一部を改正する条例制定についてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

(「省略」と呼ぶ者あり)

◎議長(村上啓二) 省略の声がありますので、省略いたします。

お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思いますが御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(村上啓二) 御異議なしと認め委員会の付託を省略し、直ちに審議いたします。

質疑に入ります。2番。

◎2番(工藤和行) この案件は、屋外広告物に関するものだと思っておりますけれども、その本市における把握状況、件数とか、あと納付状況などお知らせいただければいいなと思います。

◎議長(村上啓二) 建設部長。

◎建設部長(工藤伸太郎) 黒石市手数料条例の関係での許可の実績ということでございますけれども、平成22年度が84件、平成23年度が58件、平成24年度が22件、平成25年度が77件となっており、大体7件ぐらいが新規でございます。それで、許可手数料につきましては、平成22年度が46万2,800円、平成23年度が108万4,100円、平成24年度が20万1,500円、平成25年度が45万1,400円となっておりますが、許可物の大きさ、サイズで金額等変わりますので、変動はそのことによるものでございます。以上でございます。

◎議長(村上啓二) 質疑を終わります。

討論に入ります。

(「討論なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(村上啓二) 討論を終わります。

本案を採決いたします。

本案は原案のとおり決するに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(村上啓二) 御異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

◎議長(村上啓二) 日程第11 議案第94号 黒石市福祉事務所設置条例の一部を改正する条例
制定についてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

(「省略」と呼ぶ者あり)

◎議長(村上啓二) 省略の声がありますので、省略いたします。

お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思いますが御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(村上啓二) 御異議なしと認め委員会の付託を省略し、直ちに審議いたします。

質疑に入ります。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(村上啓二) 質疑を終わります。

討論に入ります。

(「討論なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(村上啓二) 討論を終わります。

本案を採決いたします。

本案は原案のとおり決するに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(村上啓二) 御異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

◎議長(村上啓二) 日程第12 議案第95号 黒石市乳幼児医療費給付条例の一部を改正する条
例制定についてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

(「省略」と呼ぶ者あり)

◎議長（村上啓二） 省略の声がありますので、省略いたします。

お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思いますが御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（村上啓二） 御異議なしと認め委員会の付託を省略し、直ちに審議いたします。

質疑に入ります。5番。

◎5番（工藤禎子） 30ページですけれども、この財源そのものは医療費の2分の1が市で、残りの2分の1が県だというふうに思っていますけれども、そのことの確認と、それからいわゆるそれを実施することによるペナルティーなんですけれども、10月からですから今年度は途中半端になりますから今年度の分がどれくらい負担することになるのか。来年丸1年だと、大体の目安でいいんですけれども、どれくらいになるのかお聞きしたいと思います。

◎議長（村上啓二） 健康福祉部長。

◎健康福祉部長兼福祉事務所長（村元英美） 財源については2分の1、2分の1で間違いございません。

国保の関係だと思うんですけども、ペナルティー、これ明らかにペナルティーという形でできるものはないです。国でもこれやったからペナルティーありますよというようなことは言っていないですね。ただ、特別長期交付金とかその辺の算定のときにいろいろ出てくるので、その他も含めてやらさるわけで、これについてじゃあ幾ら減らしたとか、そういう形では出てきませんので、額的にはちょっとお答えできないと思います。以上でございます。

◎議長（村上啓二） 5番。

◎5番（工藤禎子） そうすると多分、補助金と言いますか、それで精査されてくると思いますが、必ずマイナスになるというふうには思うんですけども、その辺お聞きしたいと思います。

それから、どれくらいかということですね。例えば五所川原は27年の新年度から、来年度なんですけれども、大体ペナルティー分570万円くらいかなというふうな、1年間でね。そういう試算もしているんですけども、金額的にわかったらお知らせ願いたいと思います。

それから、うちのほうは就学前、とりあえず就学前までなんですけれども、小学校になるとたしか県の負担がなくなるというふうに私ちょっと認識してるんですけども、その点もちょっとお願いしたいと思います。

◎議長（村上啓二） 健康福祉部長。

◎健康福祉部長兼福祉事務所長（村元英美） 1年間で試算すると、一応ですね半額ということ

になって約190万円になります。減額分ということですね。それから小学校になると県の補助はなくなると、これは全国共通ですので、今のところ小学校就学前までしかうちほうはできていないということです。以上でございます。

◎議長（村上啓二） 10番。

◎10番（工藤俊広） この財政厳しい中で、次のひとり親も含めて、この医療費の現物支給というのを踏み切っていただいたことに、すごく共鳴するものでありますけども、10月1日から施行ということで、期間がまず1カ月しかないという中での周知徹底、これどのように行っていくのかをお願いします。

◎議長（村上啓二） 健康福祉部長。

◎健康福祉部長兼福祉事務所長（村元英美） 市報、それからホームページ等活用して、あとは給付に窓口においでになってるときに、今までも来てますので毎月毎月、そのときに話はしておりますけども、あとは対象者、今ひとり親でもらってる方、それから乳幼児医療費もらってる方には通知を全部個々に出します。ということで対応していきますのでよろしくをお願いします。

◎議長（村上啓二） 質疑を終わります。

討論に入ります。

（「討論なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（村上啓二） 討論を終わります。

本案を採決いたします。

本案は原案のとおり決するに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（村上啓二） 御異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

◎議長（村上啓二） 日程第13 議案第96号 黒石市ひとり親家庭等医療費給付条例の一部を改正する条例制定についてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

（「省略」と呼ぶ者あり）

◎議長（村上啓二） 省略の声がありますので、省略いたします。

お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思いますが御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(村上啓二) 御異議なしと認め委員会の付託を省略し、直ちに審議いたします。
質疑に入ります。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(村上啓二) 質疑を終わります。
討論に入ります。

(「討論なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(村上啓二) 討論を終わります。
本案を採決いたします。
本案は原案のとおり決するに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(村上啓二) 御異議なしと認めます。
よって、本案は原案のとおり可決されました。

◎議長(村上啓二) 日程第14 議案第97号 財産の取得についてを議題といたします。
提案理由の補足説明を求めます。

(「省略」と呼ぶ者あり)

◎議長(村上啓二) 省略の声がありますので、省略いたします。
お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思いますが御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(村上啓二) 御異議なしと認め委員会の付託を省略し、直ちに審議いたします。
質疑に入ります。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(村上啓二) 質疑を終わります。
討論に入ります。

(「討論なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(村上啓二) 討論を終わります。
本案を採決いたします。
本案は原案のとおり決するに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長（村上啓二） 御異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

◎議長（村上啓二） 日程第15 議案第98号 固定資産評価審査委員会委員の選任についてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

◎議長（村上啓二） 市長。

登壇

◎市長（高樋憲） 議案第98号は固定資産評価審査委員会委員の選任についてであります、黒石市固定資産評価審査委員会委員として次の者を選任したいので、地方税法第423条第3項の規定により、市議会の同意を求めるものであります。

住 所 黒石市作場町85番地

氏 名 齋藤 繁人

生年月日 昭和26年3月22日

略歴は別記のとおりであります。以上です。

降壇

◎議長（村上啓二） お諮りいたします。

本案については委員会の付託、質疑、討論を省略し、直ちに採決いたしたいと思っておりますが御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（村上啓二） 御異議なしと認め委員会の付託、質疑、討論を省略し、直ちに採決いたします。

固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求めるの件は、これに同意することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（村上啓二） 御異議なしと認めます。

よって、本案はこれに同意することに決しました。

◎議長（村上啓二） 日程第16 議案第99号 平成26年度黒石市一般会計補正予算（第5号）を議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

（「省略」と呼ぶ者あり）

◎議長（村上啓二） 省略の声がありますので、省略いたします。

お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思いますが御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（村上啓二） 御異議なしと認め委員会の付託を省略し、直ちに審議いたします。

質疑に入ります。9番。

◎9番（大溝雅昭） 補正予算ですけれども、48ページ3款の1目の18節、これ福祉バスの購入ということでよろしかったかと思うんですけども、その予算と中身、そしてそれに関連して一般質問でも私、福祉バスの絡みで質問させていただきました。福祉バスの運用について、ほかでも使えないかということで、福祉バスという限定の中ではむりだと、新しい方法はないのかということでは、現状購入等は今のところは考えてないと。その次の段階でそうすればスクールバス、将来スクールバス等を用意しなければいけないので、そこについて検討していただきたいということで要望を出させていただきました。ちょっと最初の流れから逸脱してる面もあるということで明確な答弁はいただかなかったんですけども、これからのことですので考えていただきたいということなんですけども。実際福祉バスなんですけども黒石市の所有のバスですよね、それこそ特に青少年関連の団体で使わせていただきたいという声が非常に多いのも事実です。その辺、どのくらい認識しているのかお伺いいたします。

◎議長（村上啓二） 健康福祉部長。

◎健康福祉部長兼福祉事務所長（村元英美） 私からはその予算のほうまず話をします。今回、福祉バス古いほうを更新するということで予算を計上させて、2,499万6,000円。これは定員が大体33人を超えて補助席入れると38人くらいというふうなバスを考えております。それらの購入の諸経費を含めて2,499万五千幾らなんですけども切り上げて6,000円という予算を見ております。

あとの部分については私のほうで答えればいいんですか、それとも教育委員会に聞いてるんですか。はい、じゃあどうぞ。

◎議長（村上啓二） 教育部長。

◎教育部長兼市民文化会館長（奈良岡和保） スクールバスの件について、ニーズがどれくらいあるのか、認識しているのかということでお考えがありましたのでお答えします。確かに福祉バスを活用したいということでは、かねてからですね、学校やPTA、そして子供会育成会、あるいは児童館等から子供たちのレクのためにということでは、いろいろと要望あったということも含めて、そういうのがもし活用できたらということでは認識しております。

◎議長（村上啓二） 9番。

◎9番（大溝雅昭） ということで、バスも新しくなると、ただいろいろ考え方があると思いきすけれども市民の声があるので、ぜひとも、あと議会バスもあるんですけども、それもあまり活用されていないという、実際古くなっていますので、そういう面もありますけれども、その辺福祉バスの運用を見直す方法もあると思いきすし、その辺前向きに考えていただきたいんですけども、さっき総務部長手を上げてましたけども、総務部長いかがでしょうか。

◎議長（村上啓二） 総務部長。

◎総務部長（成田耕作） 議会のバスもことしですね、6件ほど貸し出しをしております。いろいろな団体にお貸ししております、ちょうど平成元年に購入して、もう26年になっているということもあって購入、それから運用についても今後検討していきたいと、そのように考えております。以上です。

◎議長（村上啓二） 14番。

◎14番（北山一衛） ただ今の議会バス運用ということの関連に関しましてちょっとお聞きしたいと思いきす。議会バスはですね、平成元年購入ということで大分古くなっていることだと思います。やはり、議会バスと言いましても今は議会優先バスということで、議会は年に数度しか使われておりません。その間に、今の話聞きますと、市民の方々に貸し出していることでもあります。やはりこれを、議会優先バスを更新してですね、新しいバスを買って、そして市民に、今の要望のある人たちに貸し出すということを考えたらどうでしょうか。そのためには財源が必要だと思います。財源は今のところ黒石は大変厳しいということでもありますから、それも使った人に対しまして、寄付を貰うとか基金を設けるとかして積み立てていくという方向も考えられると思いきすので、その辺の考え方を答えられる範囲でお聞かせ願いたいと思いきす。

◎議長（村上啓二） 総務部長。

◎総務部長（成田耕作） 議会優先バスでございますので、議員の皆様のみずは了承を得なければならぬということが前提になろうかと思いきすけども、バス購入の件に関しても、また、運用の件に関してもこれから詰めていかなければならぬことだと、そのように認識しております。

◎議長（村上啓二） 14番。

◎14番（北山一衛） ただ今の件に関しまして、やはり前向きに検討していただきたいと思いきすので、よろしくお願ひしたいと思いきす。

◎議長（村上啓二） 総務部長。

◎総務部長（成田耕作） 検討していきたいと、そのように考えております。

◎議長（村上啓二） 11番。

◎11番（工藤和子） 46ページの19款の諸収入の中の5項雑入。歳入これ補正額1,000万円で、自治総合センター共生の地域づくり助成事業助成金、これコミュニティー助成だと思いますけれども、コミュニティー活動に必要な備品や、集会施設の整備などを行う金額だと思いますけれども、どこの地区で何を購入するのかお聞きします。

◎議長（村上啓二） 健康福祉部長。

◎健康福祉部長兼福祉事務所長（村元英美） 今回、コミュニティー助成の1,000万円ですが、福祉バスの購入に充てるということで考えてございましたので、よろしくお願いします。

◎議長（村上啓二） 12番。

◎12番（山田鉦一） 44ページの青森県通学路安全推進事業委託金でちょっとお聞きしたいんですけども、国道102号線、牡丹平に通うところの左側に歩道はあるんですけども、冬になると歩道が閉鎖されてまう、雪がなっ行って行かれないんですけども、結局子供っちゅうか人は右側を歩かなければだめなんですけども、右側は側溝があつて、蓋がついてない側溝なんですよね。で、左側は歩道がないんですけども左側を歩くと。田舎館で冬に通学路は左側を歩くという看板が立ってるんですね、青い看板で左側を歩いてもいいですよ通学路ですけど、なので右側歩かれないので左側歩きましたと、そういう看板が立ってるんですね。やっぱりそれもだんだんあの辺は交通量も多いのでそういう処置をしなければいけないと思うんですけども、考えあるんですかどうにかお聞かせください。

◎議長（村上啓二） 教育部長。

◎教育部長兼市民文化会館長（奈良岡和保） 学校の通学路に関しましては、学校側が子供たちの安全を最優先ということで考えて通学路を決めております。今、御指摘の点、左側通行とかそうした部分、現状はそれこそ国道102号の道路状況によって通学路の通りというのは、学校さ行くときは左側になるのかと思ってるんですけども、そこら辺はもう一度確認は必要ですけども、学校側と協議してまいりたいということで考えております。以上です。

◎議長（村上啓二） 12番。

◎12番（山田鉦一） 実際、私も見てきたんですけども左側を歩くときも歩道の雪を盛ってる上を歩いたりしてるんですね。かなりおそらく危険なので、左の下を歩くのがいいんだろうけども、車にちゃんと教えるためには左側は通学路のときに歩道がまいので歩きますよというふうなサインを送ったほうがいいのではないかと思いますので、よろしくお願いします。

◎議長（村上啓二） 15番。

◎15番（中田博文） 45ページ、15款2項の3目、土地開発公社資産処分収入。これはどこの場所でどのような内容のものかとですね、残ってる残債とか残ってるもののわかる範囲で結構で

すので、お答えいただきたいと思います。

◎議長（村上啓二） 総務部長。

◎総務部長（成田耕作） 土地開発公社の資産処分収入641万6,000円でございますが、これに関しては黒石市からの出資金500万円と、一応北地区工業団地の誘致企業からの貸付金180万3,000円ほどございます。それから法人税、それから固定資産税を差っ引きまして141万6,000円、あわせて641万6,000円でございます。解散になりましたので、その土地に関しては所管する各部・課のものになってございます。以上でございます。

◎議長（村上啓二） 5番。

◎5番（工藤禎子） 49ページの農林水産業費でお聞きいたしますけれども、県の農地中間管理機構でですね、農地の借り受けを希望する、そういう取り組みが今年度から始まっているんですけども、7月31日現在ということで新聞に載っていましたが、黒石では7件あるということなんです。それで、これの中身なんですけれども、例えば農事組合もあったり株式会社もあったりというふうなのがあると思いますので、その内訳をお願いしたいと思います。

それから、全体から見ればですね、ちょっと少ないほうなんです、黒石がですね。そうするとその農地ですね、出し手受け手というものも不十分なもの、そしてまた、どういうふうに取り組んでいったらいいのかという手立てだとかですね、そういう方針を持っていたらお知らせ願いたいと思います。

◎議長（村上啓二） 農林商工部長。

◎農林商工部長兼バイオ技術センター所長（永田幸男） 補正予算とまったく関連のないお話です。資料は手元にはございませんが、7件は個人の農家だと思います。

黒石が少ないということなんです、取り組みとしましては認定農業者を初めとして、将来的に中核農家として受け皿になる方々に、全部、まず農事振興組合を通して通知は全部こういう形であるという制度周知はまず行っております。つい先般、人・農地プランの説明会等も行って、受け手出し手に対しても、そういう説明の機会を設けております。ただ、これに関しては従来の農業委員会を通しての3条申請でやるやり方とか、いろんな農地の貸し借りのやり方がございまして、一番課題になってるのは、要は従来の農家同士の貸し手と出し手の信頼関係に基づいてやっている、それが一番大きくて、要は中間管理機構については基本的に全て登録をして、要は全くの白紙委任というか、それによって管理機構がそれを選択すると、要は貸し手が誰々に貸したいとかというのは、一切そういう配慮がなされないものですから、この辺がなかなか難しいところでもあります。ただ、将来的に農地を拡充していくためには必要な事業でもありますので、農家のそれぞれの事情によって従来の制度を使うやり方もあるし、ただ、国が交付金を出して、今この制度を進めようとしているところもありますので、今後も周知に努

めていきたいと考えております。以上です。

◎議長（村上啓二） 8番。

◎8番（大久保朝泰） 51ページ。災害対策費の中でちょっと関連でお聞きしますが、今回、広島で大変な災害となったわけですが、黒石でもかなり大雨降っている色々な地域が水浸しになってるとか、ちょっと崩れたというようなことも聞いておりますので、黒石の状況をちょっとお知らせください。

◎議長（村上啓二） 総務部長。

◎総務部長（成田耕作） 金曜日の大雨では、馬場尻の田が冠水した程度と聞いております。それで、きょう農協のほうで摘果の広報を行ってございまして、その状況をどうなっているのかというのをまだ報告いただいております。今のところ把握しているのは馬場尻の田が冠水したという、その1件だけでございます。以上でございます。

◎議長（村上啓二） 11番。

◎11番（工藤和子） 馬場尻ですけども、実はですね十川の河川、あれが大変なんですよ。地元の人たちはボランティアであの辺の周りの草ですね、土手の、それくらいは地元はできますけれども、それだったら間に合わないわけで、中に木がいっぱい生えてるし、要するに十川が浅くなってしまうんです。それと、幅が狭くなると。それで先日ですね、国土交通省のほうにも電話しました。それと、市の担当のほうにも電話しました、どうかしてくれと。しかし、要望が上がっていないと、市では、優先順位も何にもつけられないということで、それはそれとして、地元はみんなでボランティアでまず地元の力を見せようということで、日にちはまだ決まってませんが、有志で草刈りとごみを拾う。要するに浅瀬石川クリーン作戦ありますよね。十川のクリーン作戦をしようじゃないかという地元の人たちの話で、今やろうとしてます。まだ日にちは決まってませんが、そのときに市のほうでぜひともそれを見てですね、草刈ったあとの草を、ごみを回収してくれるとか、また、実際見れば大変なもんですから十川。それを県のほうに十分要望していただきたいと思います。要するに、市が架け橋になっていただきたいというお願いですけども、いかがですか。

◎議長（村上啓二） 建設部長。

◎建設部長（工藤伸太郎） 岩木川と同様に、十川というのは洪水が頻繁に起こっている箇所でございます。県のほうにも中南県民局とか、相談にこちらのほうでも行ったりしてはございます。そのこともありますので、市当局として再度検討させていただきたいと思っております。以上でございます。

◎議長（村上啓二） 質疑を終わります。

討論に入ります。

(「討論なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(村上啓二) 討論を終わります。

本案を採決いたします。

本案は原案のとおり決するに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(村上啓二) 御異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

◎議長(村上啓二) 以上で、今期定例会に上程されました議案の審議は全部終了いたしました。

これにて平成26年第2回黒石市議会定例会を閉会いたします。

午前10時50分 閉 会

地方自治法第123条第2項の規定により、ここに署名する。

平成26年8月25日

黒石市議会議長 村上啓二

黒石市議会議員 大久保朝泰

黒石市議会議員 福士幸雄